

「産業、なりわい」を守る砂防事業(香川県小豆島町)

オリーブを核とした持続可能な島づくりを支える砂防



- ✓ 小豆島でオリーブ栽培・販売をしている会社は約40社(2021年時点)。その他加工品会社多数。
- ✓ 小豆島を訪れる観光客は年間約100万人で推移。年間約50万人がオリーブ公園を訪れている。
- ✓ 近年では、定年退職や島外からの移住によりオリーブ栽培に取り組む新規生産者も増加傾向。
- ✓ オリーブは、島の食品・観光産業、なりわいを支える地域資源として、持続可能な島づくりに活かされている。

1908年 小豆島でオリーブの試験栽培開始
 1974,76年 昭和49年豪雨災害、昭和51年豪雨災害
 1988年 オリーブ公園開園(土石流跡地を有効利用)
 2003年 構造改革特区「オリーブ振興特区」へ
 2010年 栽培面積過去最高
 2017年 収穫量過去最高
 2022年 「オリーブを核とした地域振興」を掲げる小豆島が「世界の持続可能な観光地TOP100選」に

